

Coffee Enjoyment

[コーヒー エンjoyメント]



vol.
02



<特集>

朝・昼・夜
コーヒーの楽しみ方
24時間

COLUMN

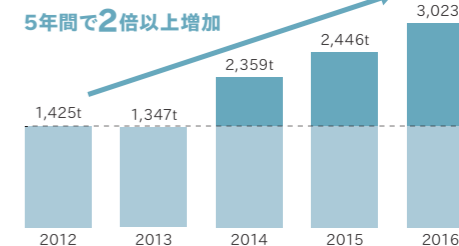


あらゆる人にコーヒーの幸せを — 急伸するデカフェ市場 —

デカフェ(カフェインレス・コーヒー)とは、脱カフェイン処理したコーヒーのこと。欧米では健康上の理由などからカフェインを敬遠したい人々に広く受け入れられており、世界のコーヒー市場の約10%を占めるとされています。

全日本コーヒー協会の「デカフェコーヒーの輸入推移」でも、2012年に1,425トン(生豆換算)だったのが、2016年までの4年間で倍以上の3,023トンと、大幅に増えていることがわかります。全日本コーヒー協会では、その要因を妊婦や授乳中の女性、そして就寝前にコーヒーを飲みたい人などのニーズが増大し、認知が拡大しているためと分析しています。さらにデカフェコーヒー認知度向上・消費増加を2017年の重大ニュースの一つとして発表しています。デカフェコーヒーの広がり、カフェインを避けたい多様な人々にとっては朗報です。コーヒー習慣を持つ人の裾野を広げる意味でも、デカフェの存在意義は大きいのではないのでしょうか。誰もがコーヒーの豊かな世界を楽しめる時代がやってきました。

デカフェコーヒーの輸入推移 統計資料(全日本コーヒー協会)



生豆(脱カフェイン)は1.05倍、いったコーヒー(脱カフェイン)は1.25倍で換算(換算値は国際コーヒー機関による。)※財務省「貿易統計」をもとに全日本コーヒー協会が再集計したものになる。



MELITTA TOPICS

New



ステンレスキャニスター<さくら>
800ml(コーヒー豆200g相当)メジャースプーン付き
¥5,000(税抜)

国産ヤマザクラ無垢材を使用
「ステンレスキャニスター<さくら>」登場

「さくらのドリップスタンド」に続くヤマザクラシリーズの第2弾として、希少な日本のヤマザクラ無垢材を蓋に使用したコーヒー豆保存容器が登場。密閉性の高さで定評のあるメリタのキャニスターに木材特有の調湿機能をそなえた、日本ならではの製品です。

New



メリタ フラットカッターディスク コーヒーグラインダー
W97 × D160 × H255mm
¥12,000(税抜)

業務用仕様の本格グラインダー
「フラットカッターディスク
コーヒーグラインダー」新発売

業務用で広く使用されている「フラットディスク形式」を採用した家庭用グラインダー。従来のパーフェクトタッチIIが、よりスタイリッシュなデザインで生まれ変わりました。粗挽き〜細挽きまで17段階の調整が可能。市場が拡大する家庭用ミルの決定版です。

Coming Soon



メリタ プライムアーク ミニ
W220 × D160 × H205mm
¥8,000(税抜)

必要なときに必要なだけ
シンプルデザインの電気ケトル

色々なシーンで使える家庭用電気ケトル「メリタ プライムアーク ミニ」がこの夏登場! 片手ワンタッチでふたを開けることができ、容量は1リットル。必要なときに必要な分だけ、手軽にお湯が沸かせます。(2018年夏より販売開始予定)

EDITOR'S NOTE

今回は時間でコーヒーを区切り、さまざまなコーヒーの楽しみ方を改めて提案させていただきました。この第2弾目の発行にあたって、ロースターの方に興味を持てただけはなにか非常に悩みました。メリタの広報誌といっても、単に抽出の論理に関するものではなく、コーヒーの香りを感じ、もっとコーヒーをおいしく感じられる時間を作ることができ

ばと考えてつくりました。コーヒーの専門メーカーとして、機械を売るだけのメーカーではなく、どうすればお客様に喜んでいただけるか、日本のコーヒーをおいしくするためにはどんなことができるか、これからも提案させていただければと思います。(マーケティング部 志岐)



メリタジャパン株式会社
〒136-0071 東京都江東区亀戸2丁目26番10号 立花亀戸ビル6F
TEL. 03-5836-2701(大代表) <http://melitta.co.jp/>

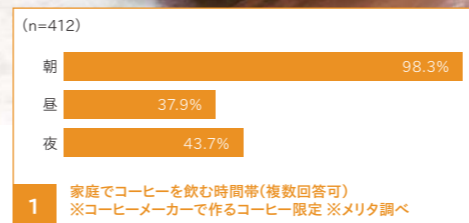
発行:メリタジャパン 企画:伝創社 制作:ブラン

朝・昼・夜 コーヒーの楽しみ方 24時間

コーヒーは、いつ飲まれているのでしょうか？
朝の時間、午後のひとときはもちろん、
それ以外にも1日のさまざまなシーンを提案することで、
お客様のコーヒーの愉しみが、もっと広がります。



コーヒーとともに今はパンも一大ブーム。
美味しいパンとコーヒーは切っても切り離せない関係です。



1 日のはじまりをコーヒーとともに迎える人は多いのではないだろうか。メリタが独自に行った調査¹でも、コーヒーメーカーで淹れるコーヒーを飲んでいる人は、「朝食時」が44.2%と最多で、「起床時」や「朝食前後」も加えると、全体で98.3%に及びました。コーヒーメーカーは「朝」を中心に活躍しているようです。

そして、朝にコーヒーと一緒に味わうものといえば、やはりパン。世界中に多くの種類がありますが、コーヒーはどんなパンと合わせてもマッチします。例えばドイツならブレックツェルなどの小型パンにコーヒー、フランスはクロワッサンにカフェオレが定番のイメージですが、縦に切ったバゲットにバターやジャム・蜂蜜をつけていただくスタイルも一般的です。日本ではやはりトーストでしょうか。パンをおいしく焼くポイントには「水分」にあります。霧吹きをかけてトースターにかけて、ふくら焼き立てのパンの香りがよみがえります。また、魚焼き用のグリルを使えば、強火で一気に焼き上げるので水分が飛ばずに仕上がります。美味しいパンとコーヒーがあれば、一日のスタートは完璧ですね。



多忙な平日は、 コーヒーメーカーに おまかせでゆっくりと 目覚めを促す朝の空気を。

手軽にできて、奥が深いハンドドリップの世界。
コーヒーのプロのアドバイスが、入り込むきっかけになることも。



自分だけの一杯を発見する 休日午後の贅沢、ハンドドリップ。

朝にコーヒーメーカーを利用する人が多い一方で、実は家庭でのコーヒーの淹れ方として最も多いのは「ハンドドリップ」です。約45%の人がペーパー使用のハンドドリップで淹れているという調査結果²があります。ハンドドリップの良さは、器具がシンプルで手軽だけでなく、抽出時間やコーヒー粉の量、挽き具合などのバランスで味わいの変化を楽しめること。自分好みのバランスを見つける楽しみがあります。抽出には熱湯ではなく90度くらいが適温であることなど、コーヒーをおいしく楽しんでいただく基本的な情報を、お客様にお伝えするのも良いかもしれません。

また、もう一つ見逃せないのが「個包装1杯型」のコーヒー消費の広がりで、全日本コーヒー協会によれば、少人数世帯の増加や鮮度への志向が強まったことなどから、大手メーカーをはじめ、中堅中小のロースターでもこうしたタイプの商品開発が急拡大しているということです。様々な産地の豆を1杯ごとに楽しめるメリットもあります。

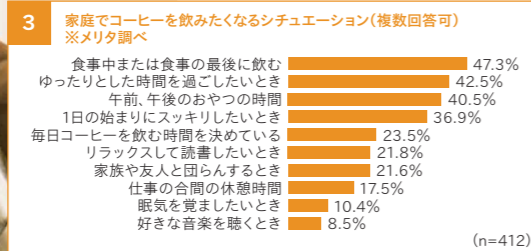


時にはお酒の代わりに コーヒーを。くつろぎと コミュニケーションの新提案。

さて、コーヒーといえば朝や昼間のイメージが強いかもしれませんが、それだけでありません。コーヒーを飲みたくなるシチュエーション³として、「ゆったりとした時間を過ごしたいとき」という回答が、「食事中または食後に続く」という回答が、それぞれ47.3%と42.5%に及びました。また、「午前、午後のおやつ時間」は40.5%、「1日の始まりにスッキリしたいとき」は36.9%、「毎日コーヒーを飲む時間を決めている」は23.5%、「リラックスして読書したいとき」は21.8%、「家族や友人と団らんするとき」は21.6%、「仕事の合間の休憩時間」は17.5%、「眠気を覚ましたいとき」は10.4%、「好きな音楽を聴くとき」は8.5%です。

淹れ方は、豆本来のフレーバーや持ち味をストレートに感じることができ、「フレンチプレス」がおすすです。様々な産地のコーヒー豆を試し、感じていただく機会にはぜひです。例えば日本人好みの味わいとされる「ブルーマウンテン」は、ジャマイカのブルーマウンテン山脈の標高800m以上の地で栽培されたものに限定されるため高価になっていますが、各産地の味わいの特徴をお伝えすると同時に希少性をアピールすることで、お客様により関心を寄せていただくきっかけにもなるのではないのでしょうか。

*コーヒーメーカーで淹れたコーヒーという条件での調査



「コーヒーを飲みたくなるシチュエーション」は、クロスセルでお客様に提案する商品の参考になるかもしれません。



夜寝る前にもコーヒー？ デカフェコーヒーでリラックス。

夕食後のひととき、コーヒーを楽しむために、でも眠れなくなるのが心配と躊躇する人は多いかもしれません。最近では、メディアなどで睡眠の質についての話題も多く、カフェインの影響が気になる人も多いようです。そんな時、試してみたいのがデカフェコーヒーです。デカフェコーヒーは、近年、ニーズ認知度ともに大きく高まり、品揃えしているお店も増えています。味は、試してみればわかりますが、通常のコーヒーと大きく変わりません。コーヒーはノンカフェインなので、実は就寝前のくつろぎ



深夜にコーヒーを楽しむときも安心なデカフェコーヒー。
いつもの豆に加えてもう1品、おすすめしてみてもいいかな。

時間にも最適な飲み物です。せっかくなので、コーヒーと相性の良いチョコレートを一緒に楽しんではいかがでしょうか？カカオに含まれるテオブロミンという成分にはリラックス効果があり、ヨーロッパでは、ホテルのベッドサイドによくチョコレートが置かれています。一日の締めくくりにはふさわしいひとときになるでしょう。

いかがでしたでしょうか。アイデア次第で無限に広がるコーヒーの魅力、楽しみ方をぜひお客様への日々のご提案に活かしていただければと思います。

Cover Story

「コーヒー × 時計」のビジュアルで、特集テーマをグラフィカルに表現した今回の表紙。1日のあらゆる時間をコーヒーで豊かに彩って欲しい。そんな想いを込めました。

